

老上学区 2025.7.31現在(対6月比) 人口 13,066人(+10) 世帯数 5,864世帯(±0)

祝50号



老上まちづくりセンターHP



わがまち老上だより

発行 老上学区まちづくり協議会 編集 情報発信委員会

〒525-0055 草津市野路町 520 番地(老上まちづくりセンター内)

TEL・FAX 077-564-1430 E-mail oikami@machikyou.jp



老上学区
まちづくり協議会

ふるさと老上のこころ
自主(進取の心)協同(連帯性)
敬愛(人権尊重)

わがまち老上だより
第50号記念!

Special
Interview

滋賀から世界へ!

今号で50号を迎えたことを記念して、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の開催が間近となった今、世界を見据える宇田秀生選手へのスペシャルインタビューが実現しました。

生死を分けるような危機的な状況をチャンスに変え、東京パラリンピックでは銀メダリストに輝いた宇田選手。その強さの秘密や、家族との絆に迫ります。



Profile

所属: NTT東日本・NTT西日本
生年月日: 1987年4月6日
出身地: 滋賀県甲賀市
出身校: 水口高校 関西外国語大学
主な経歴:
2015年 アジア選手権(スービックベイ) 初出場・初優勝
2021年 東京2020パラリンピック 銀メダル
2023年 ワールドカップ(ロングビーチ) 優勝
2024年 パリ2024パラリンピック 出場



Q1: パラトリアスロンとの出会いは?

2013年に結婚し、5日後に事故で右腕を失ったが、入院中に夫婦ともにパラリンピック出場は考えていた。リハビリで水泳を行う中でパラトリアスロンに出会い、2015年に近江八幡で開催されたパラトリアスロンに、何も分からない状況で参加。その後、日本のパラトリアスロンの代表者に、ASTC アジアパラトリアスロン選手権(2015/スービックベイ)の参加を勧められ、2戦目にして優勝し、現在に至っている。サッカーで培った負けず嫌いが、今につながっている。

Q2: パラトリアスロンの種目 スイム(750m)・バイク(20km)・ラン(5km)のうち、得意種目は?

サッカーをやっていて持久力があって、ランが得意。スイムが苦手。1ヶ月でスイムトレーニングは120km~150km、ラントレーニングでは250km~300km、バイクトレーニングでは1000km~1500km走る。大会での記録タイムは1時間程。この1時間のために日々コツコツとトレーニングを積み重ねて強くなる。ゴールした時の達成感で続けられている。

Q3: 今までで一番印象に残った大会は?

やはり結果が付いてきた東京2020パラリンピック。この大会で日本人初のメダリストになり、いろんな人に知ってもらえ、見てもらえ、様々な環境に身を置けたことが大きかった。競技中の声援はよく届いていて、大きな励みになり、背中を押してもらっている。

Q4: 厳しい選手生活の中、前向きに笑顔で頑張れる原動力は?

家族の応援が原動力。友人もそうで、周りの人に恵まれていることで頑張れる。苦しいけど何事も続かないし、楽しみを見つけながらだと続けていける。成長を感じた時の喜びが次に伝わっていく。子どもたちにもそれは常に伝えている。

Q5: 頑張った自分への最高のご褒美は?

家へ帰って子どもと一緒に遊んだり、妻が作ってくれたご飯を食べたりしながら、テレビの前で遊ぶ子どもたちを見ているときが一番幸せ。また、シャワーしかない海外から帰国し、家でバスタブにゆっくり浸かれたときは幸せを感じる。

Q6: 今後の目標や意気込みは?

次のパラリンピック ロサンゼルス大会に出場すること。目標は、日本でいちばん人生を楽しむ障がい者になること!!

Q7: 子どもたちへのメッセージをお願いします!

日々コツコツと積み重ねることが大切。目標をたて、そこから逆算して達成するのが大事。なんでも真剣に取り組むが、楽しむことも大切。成長を感じたら大人でも子どもでも嬉しいので、自分の成長に喜びをもつ。褒めてのばす、周りも喜んでのばしてあげる環境を作ってあげる。

「世界は広いぞ!!失敗なんて人生のほんの一部」

第1号

2014年9月1日



これまでに発行されていた「地域パートナー情報老上」と「かわら版老上まちづくり」を合併する。

第8号

2015年10月15日



カラー印刷で配布を始める。紙面作成や記事提供のスタッフを募集。

第11号

2016年5月1日



老上と老上西小学校に分離、まちづくり協議会も二つに分かれる。老上の歴史など取材記事を増やす。

記念座談会 & メッセージ

わがまち老上だより

50号

老上学区の情報紙「わがまち老上だより」が発行50号を迎えました。ボランティアで情報紙の発行に携る情報発信委員が集まり、今までの振り返りと今後の想いを語りました。

(司会：日下部 老上まちづくりセンター長)

参加のきっかけは様々

Q1:まず、皆さんがどのようなきっかけで情報紙作りに関わってくださったのか、そのきっかけをお聞かせいただけますか。



てらお

「広報紙作り講座」に参加後、誘いを受けました。小学校の学級新聞を思い出して参加しました。



いそじま

2018年度に老上小学校のPTA会長になり、地域の活動も手伝う中で、まち協の会長とも親しくなり、まち協から声かけをされました。



まつむら

仕事も一区切りつき、地域の役に立てればと考えていた矢先に、職員から声をかけて頂き参加しました。



いいだ

紙面づくりは、職員の方が行われていたが、元公民館職員であったことから、職員の声掛けがあり、校正の立場で関わりました。



くろかわ

自身の子育て中は地域の方にお世話になっていたの、何かの形でお返ししたい、お役にたきたいと考えていたところ、声掛けをしてもらいました。お誘いの内容は何かも知らず、参加して初めて情報紙の作成だと分かったが、人との新たな交流も生まれ、良かったと思います。



はせがわ

まち協の活動を取材されたラジオ収録の後、そこで初めてお会いした編集長にお誘いいただきました。やりたかったことだったので、すぐに参加を決めました。

多彩な記事で老上を伝える

Q2:困った事や、反対に嬉しかった事などあったかと思えます。そのあたりは如何でしたでしょうか。

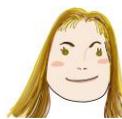


当初の紙面への想いが、すっかり変更になって出来上がっていたことが少しショックでした。

今思うことは、日本語はとても大事で、最近の言葉は、揺れていることも多く、大事な言葉を守っていきたいと思います。



私がこの活動に参加したのはコロナ禍で、ネタ集めが大変でした。会議の回数も減り、紙面作成も迷いながらでした。出来上がった情報紙を「見たよ!」「いい感じだったね」などの言葉を頂いて嬉しかった。だれもが、いつでも手に取れて、親しみを持ってもらえるようになれば良いと思います。



パソコンの画面で「これで、よし!」とした紙面が、印刷すると出来上がりの違いに驚きます。

まち協役員と意見の相違があり、魅力的な紙面づくりに誇りを持って携わっていますが、まち協視点としての考え方もあって、議論になった時、情報発信委員の想いがみんな同じだったのが、嬉しい一番の思い出です。ページ毎の担当者によって異なった雰囲気仕上がりになってくるのは良い点で、面白味になっていると思います。



記事の背景も伝えて行くことが必要だと思います。作成者が小学生から高齢者までと、幅広い年齢層なのも老上の特徴だと思います。

いきいきとした紙面を目指して

Q3: 今後の紙面作りへの抱負や、情報紙がまちづくりにどのように寄与していった欲しいか等、お聞かせください。



若い人が熱意を持って、続けてほしいと思います。以前、入院中に娘が校正をする原稿を持ってきましたが、病院でも前向きになれました。若いころに関わってよかったと思っています。



続けていく事が大事だと思います。今、紙ベースの物がなくなりつつありますが、身近に手に取れるものは残してほしいです。



手に取って読みたくなるような紙面を作り続けたいです。読むことで、背中を押してもらえたり、明日が楽しみになるようなきっかけづくりができれば嬉しいです。

老上を愛するみなさんの想いが、たくさんの方に届きますように。



紙面の賑わいが老上の賑わいだと感じます。読み手、書き手、作り手、みんなが主役となり、何らかの行動に移して下さって、その動きがまちづくりになると思います。



子ども記者クラブで、自分の子どもが関わり、出来た情報紙を見せて家族や友達に関心をもってもらえます。もっと発信して地域のことを、自分事にとらえて頂くようになるといいですね。



関わる人が増えると、読む人も増えるので、身近なことから関わる人を増やしていきたいです。地域との関わりは大変だという人が多いですが、関わってみたらおもしろいことが伝わっていくと思います。老上の中のストーリーを作っていくってほしいです。

座談会に参加できなかった委員・元委員からメッセージ



にしもと

3ヶ月に一度、紙面作成の一員として参加することで達成感が得られ、次も自分の出来る範囲で頑張りたいと意欲が湧きます。



えとう

情報発信委員会に関わったおかげで、その後の集まりの機会にも声をかけて頂き、とても嬉しく、地域と共に暮らしていることを実感します。



TMR

社協活動PRを目的に平成28年から関わっています。当時のまち協・まちセン、各種団体等の活動紹介を中心の紙面作りから、ジャンルを偏ることなく、誰もが興味を持って読んで頂けるよう、全方向を視野に入れた記事展開が出来たらと思います。



くりす

取材に行っているいろいろな人と出会い、新しいことを知り発見すると、楽しくなります。そして、情報発信委員のみなさんの優しい人柄で温かくなります。



いしもと

広報レポーターとして地域を知って皆さんと共有、お繋ぎ出来ること、これからも楽しみにしています。



Mikeneko♪

皆さんの老上愛がぎゅっと詰まった情報紙、挿絵で参加出来て光栄です。



ふるいち

パソコンサークルの繋がりで紙面編集のお誘いを受け、今ではボケ防止最高!



やまもと会長

今までの御苦勞に感謝します。今後も多彩な記事で魅力ある老上を発信して下さい。

《他にも多くの方が作成に携わってきました》

本号6頁を **こども記者** が担当しました

第16号

2017年5月15日



老上学区みらい応援隊誕生。「わがまち老上だより」作成は情報発信委員会が担当。

第19号

2017年12月1日



老上学区のキャラクター「おいかめちゃん」登場。22号からは子ども向けおいかめちゃんページスタート。

第34号

2021年9月1日



老上こども記者クラブ結成。一ページ分を企画、取材、紙面作成まで行う。

かしこい消費者になりましょう ～悪質商法から身を守る～

7月4日、やすらぎ学級と老上まちづくりセンター講座との合同開催で「かしこい消費者になりましょう～悪質商法から身を守る～」が、草津市消費生活センターの方々に講師を迎えて行われました。

40名の方が受講され、日頃の生活で注意することへの替え歌や、山本会長とやすらぎ学級生による寸劇で、最近の悪質商法の手口とその対策、クーリングオフの制度や契約トラブル、投資詐欺について等、具体的にトラブルになりかねない事例について楽しく学びました。最後には、○×クイズで知識を定着させることが出来ました。

不安なことが起こった時は、躊躇せず知り合いに聞いたり、市役所内の消費生活センターに問い合わせたりすることが大切です。身近な地域の講座に積極的に参加して新しい知識を身につけることで、いざという時に自分の身を守り、誰かの役に立てるかもしれませんね。

情報発信委員 石本



草津市消費生活センター 相談窓口

077-561-2353



「琵琶湖から教室へ」 老上中学校

ヨシを刈って、作って、調べて、学ぶ

老上中学2年生が琵琶湖に群生しているヨシを使ってヨシ簀(ず)作りをしました。

「世間よし、琵琶湖よし、みんなよし」を掲げる老中生三方よし学習は、草津市の教育事業スクールESD草津プロジェクト(SDGsの実現に向けた教育)の一環です。琵琶湖の環境を守る役割を果たすヨシについて調べたり講演会で学んだりしたうえで、校外学習として今年1月に近江八幡市西の湖でヨシ刈りをしました。

5月には刈り取ったヨシで日よけに使うヨシ簀をみんなで作りしました。6人一組になって、ひもで編む、ヨシを差し入れる、そして押さえるなど、チームワークで幅2.7メートル高さ1.5メートルの手作り品を2年生7クラスと校長室の分にして完成させました。

作業中に感想を聞くと、「ヨシ刈りは寒かった」「皮おきはちょっとコツがいる」「編むのは難しいが、慣れれば職人技(?)」などといった声も聞かれました。出来上がったヨシ簀は、暑い季節に教室で実際に使い、室温の変化など、その効果を科学的に検証していきます。

このように長期にわたる総合学習には、ヨシに関わる特定非営利活動法人や環境問題に取り組む企業の指導や協力を得て進められ、広く地域に根ざす取り組みになっていました。今後の研究成果の報告が楽しみです。

情報発信委員 寺尾



あつまれ☆老上のまち みんなの伝言板



いのち

生命の貯蓄体操 募集中

人生100年時代

元気で長生きするのに丹田呼吸法で自分の身体
の力をぬいて気の流れを良くしませんか。

◆開催場所:老上まちづくりセンター

◆開催日時:毎月第2水曜日 13:30~15:30



「生命の貯蓄体操」

代表 中村 多美子

◆お問い合わせは

老上まちづくりセンター まで

077-564-1430

『夢みる街づくり わんだふる』募集中

「音楽・防災・健康・環境・ものづくり」を通じて、地域の方々と温かい優しい輪で繋がることを目的とした「まちづくり・子育て支援」のサークルです。

- 育休中・短期間でも大丈夫♡
- 今日何か一つでも親子でできたという喜び・安心を持って帰って欲しいです♡
- ここで小さな自信を見つけて欲しいです♡
- ママがほっと安らぐ♡
- ママの心の健康を第一に想って 活動しています♡ (詳細はぽかぽかタウンのサイトにて)

草津市育児サークルに登録の『親子音楽サークル わんだふる』ではリトミック・コーラスをおこなっています。

◆開催場所:老上まちづくりセンター

◆開催日時:毎月第2第4金曜日 10:00~12:00

また月に1回『土曜わんだふる』も開催しています。どうぞお気軽にお問い合わせください♡



nico.wonderful25@gmail.com 阿万宛て

ALL老上スポーツクラブ紹介

ALL老上スポーツクラブは、老上/老上西学区を拠点とする「総合型地域スポーツクラブ」です。2018年4月に発足し8年目になります。

会員によって自主運営され、会員のアイデア次第でニーズに合ったクラブを創造します。

◆開催場所:老上西小学校体育館およびグラウンド

◆開催日時:毎週土曜日 9:00~11:30

様々なスポーツを楽しんでいます。

主にグラウンドゴルフ、卓球、バウンドテニス、バドミントン、スポーツ吹矢等々。ぜひ一度見学にお越し下さい。

◆お問合せ:老上まちづくりセンター077-564-1430

または専用携帯

(080-6175-8179)

クラブ事務局 古市 猛



◆草津市感謝状被表彰者紹介◆

地域の発展または地域コミュニティの

振興に寄与された個人・団体

《個人》

小寺 實 様

杉江 貞男 様

《団体》

「点字つばさの会」様 小寺 實 様



▶▶ 草津市指定ごみ袋等の取り扱いを終了します ◀◀

令和7年9月30日(火)をもちまして、老上まちづくりセンターでの草津市指定ごみ袋の取扱い(販売・交換)、および粗大ごみ処理券の販売が終了となります。10月以降は、草津市ごみカレンダー裏面に記載されているスーパーやコンビニエンスストア等をご利用ください。現在配付されている「草津市指定ごみ袋引換券」の有効期限は、令和7年9月30日(火)までです。まだお持ちの方は期限内に交換してください。尚、販売・交換ともに当センターの在庫がなくなり次第終了となりますのでご了承ください。



国スポ・障スポ2025in滋賀～第3弾～

伊藤洸輝選手・板橋美波選手にインタビュー!



今回はなんと国スポ出場の伊藤洸輝選手と板橋美波選手に、インフロンア草津アクアティクスセンターでインタビューをしてきました!お二人の体験や思いを深掘りしていきます。

◎なぜ飛込選手になったのですか?

板橋選手:スイミングスクールに通っていて、飛込もやってみないかと言われたのがきっかけ。

伊藤選手:もともと競泳の選手だったお兄ちゃんが、お母さんに「度胸をつけなさい」と言われ飛込を先に始めて、僕も誘われた。



◎飛び込みで気を付けていること

板橋選手:けがが多かったので安全第一。

伊藤選手:指先、つま先をきれいに見せるように意識している。

◎憧れの選手は?

板橋選手:中国の施廷懋選手。

伊藤選手:寺内健選手。いつか抜かしてやるという気持ちで練習している。

◎人生を一言で表すと?

板橋選手:超える

伊藤選手:繋ぐ

◎なぜ頑張れるのですか?

板橋選手:小6のときに東京でオリンピックが開催されることが決まったので、絶対出場するという気持ちで苦しい練習も頑張ってきた。オリンピック前のコロナ禍のときにけがをしてしまって、オリンピックに出られるか不安な状況だったが、コーチや主治医に「絶対に出られる」と励まされ、また頑張る気持ちになれた。

伊藤選手:応援してくれる人に恩返しをしたいという気持ちで頑張っている。東京オリンピックまで遊ぶ時間もなく、練習練習で精神的にも肉体的にも大変だったが、それを乗り越えて東京オリンピックに出られてよかった。



◎国スポへの意気込みは?

板橋選手:自分らしい演技ができるよう頑張る。

伊藤選手:「がんばれ」と応援してくれる人に恩返しができるような演技で頑張りたい。



伊藤選手、板橋選手
インタビューありがとうございました。

【今月の担当】

取材・・・きょうま、はると、りほ

タイトル・イラスト・説明文・・・きょうま

記事作り・ルビ打ち・・・りほ

写真・取材まとめ・・・はると